

令和 8 年度

五所川原市橋梁定期点検業務

特記仕様書

五所川原市字弥生町外 地内

## 第1章 総則

### 第1条 業務の目的

本業務は、五所川原市が所管する橋梁52橋について、財団法人大阪地域計画研究所(RPI)が開発した橋梁マネジメントシステム(BMS)を活用し、更新費用の平準化や建設維持コストの低減を図るため橋梁点検を実施するものである。

### 第2条 特記仕様書等の適用

本業務の実施にあたっては、青森県県土整備部制定「共通仕様書(設計業務等編)令和7年10月1日以降適用」によるほか、特記仕様書にもとづき実施しなければならない。  
本特記仕様書に明示なき一般事項は、共通仕様書によるものとする。

### 第3条 履行場所

本業務の履行場所は、五所川原市全域とする。

### 第4条 履行期限

本業務の履行期限は令和9年3月25日とする。

### 第5条 業務内容

本業務の業務内容は、別紙委託内容内訳表のとおりであり、業務実施に関する詳細は「第2章 業務内容」を準用するものとする。

### 第6条 業務計画書

受注者は、契約後すみやかに必要な資料を収集し、橋梁点検の実施体制を整えて、共通仕様書第1112条にもとづき業務計画書を作成し、調査職員に提出するものとする。  
なお、現地踏査の結果などにより、業務内容に変更が生じた場合は、変更業務計画書を提出するものとする。

### 第7条 使用図書

本業務で使用する図書は、次のとおりとする。

- ①青森県橋梁アセットマネジメント運営マニュアル(案) (青森県県土整備部)
- ②橋梁点検ハンドブック(1)橋梁点検のポイント (青森県県土整備部)
- ③橋梁点検ハンドブック(2)橋梁点検の手引き (青森県県土整備部)

## 第 8 条 貸与する資料

共通仕様書の定める委託者が貸与する図書及びその他の資料は次の通りとする。

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| ① 過年度橋梁定期点検業務           | 成果品 1 式 |
| ② 過年度橋梁長寿命化修繕計画策定業務     | 成果品 1 式 |
| ③ その他業務履行上必要な発注者が所有する資料 | 1 式     |

## 第 9 条 打合せ等

本業務の打合せは、当初、中間 1 回、成果品納入時の計 3 回とする。

## 第 10 条 成果品の提出

本業務の成果は、以下のものを提出するものとする。

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| ①橋梁点検データ        | 1 式 |
| ②報告書            | 2 部 |
| ③その他調査職員の指示した資料 | 1 式 |

## 第 11 条 その他

受注者は安全管理にあたっては、マニュアル(点検編)「2-5 安全対策」を遵守し、また作業実施にあたり疑義が生じた場合には速やかに調査職員に報告し、協議を行うものとする。

## 第2章 橋梁点検

### 第1条 現地踏査

橋梁点検に先立ち、橋梁本体及び周辺状況を把握し、点検方法などの計画立案に必要な情報を得るための現地踏査を実施し、交通状況や点検等に伴う交通規制の方法等についても調査し、記録する。

又、現場状況に作業上支障がある場合には、調査職員と協議する。

### 第2条 実施計画書作成

受注者は、現地踏査による調査記録を含め作業上必要な資料の収集と、他機関との協議終了時に実施計画書を作成し、速やかに監督職員に提出するものとする。

実施計画書作成にあたっては共通仕様書第1112条の事項に加え、次の事項を記載するものとする。

- 1.橋梁点検方法(使用機械・器具及びそれらの使用範囲)
- 2.安全管理計画(交通規制含む)
- 3.他機関との協議結果
- 4.その他、監督職員が必要と認めたもの

### 第3条 橋梁点検員等

本業務を実施する者は、橋梁に関して十分な知識と実務経験を有する者とする。なお、点検に携わる人員の名称、必要な要件及び作業内容は、マニュアル〈点検編〉「2-4 点検体制」の定めのほか、次のとおりとする。

#### ①橋梁点検員

(財)青森県建設技術センターが行った「橋梁点検技術研修会」の修了者

なお、修了証の写しを業務計画書に添付しなければならない。

### 第4条 橋梁点検

本業務実施に際しては、次の項目について点検及び資料の作成を行うものとする。

#### 1.点検方法

点検は近接目視を基本とする。なお、点検を行う際に、架橋位置の地形、交通状況、交差物件、障害物等により、実施が困難な場合は、監督職員と協議するものとする。点検作業にあたっては、マニュアル〈点検編〉「2-3 点検の項目及び方法」、「2-4 点検体制」、「2-5 安全対策」のほか道路橋定期点検要領に従うものとする。また、点検作業の際はハンドブック（1）及び（2）を必ず携行するものとする。

#### 2.点検結果の記録

点検の記録は「点検支援システム(タブレットPCシステム)」によるものとする。記録にあたっては、マニュアル〈点検編〉「2-6 劣化・損傷の記録」、「2-7 劣化機構の推定」、「2-8 健全度評価」、「2-9 対策区分の判定」に従うものとする。又、

作業にあたっては、マニュアル〈点検/資料編〉を遵守する。

3.緊急措置が必要と判断される場合は、直ちに調査職員に報告するものとする。

#### 第5条 対象数量等

費目	工種	種別	細別・規格	数量	単位
事前データ作成	新設コンクリート橋	橋梁点検車 1、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		1	橋
					橋
					橋
					橋
					橋
					橋
	新設鋼橋				橋
					橋
					橋
橋梁定期点検	定期点検 (A グループ)	機材無し、 $N \leq 3$ 、 $B \geq 12$		1	橋
		梯子、 $N \leq 3$ 、 $B < 6$		1	橋
		梯子、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		2	橋
		橋梁点検車、 $N \leq 3$ 、 $B < 6$		1	橋
		橋梁点検車、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		3	橋
		高所作業車、 $N \geq 7$ 、 $B \geq 12$		1	橋
	定期点検 (B グループ)	機材無し、 $N \leq 3$ 、 $B < 6$		11	橋
		機材無し、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		13	橋
		機材無し、 $N \leq 3$ 、 $B \geq 12$		9	橋
		梯子、 $N \leq 3$ 、 $B < 6$		3	橋
		梯子、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		2	橋
		梯子、 $N \leq 3$ 、 $B \geq 12$		3	橋
		橋梁点検車、 $N \leq 3$ 、 $6 \leq B < 12$		1	橋

※詳細は別紙橋梁定期点検対象一覧による。